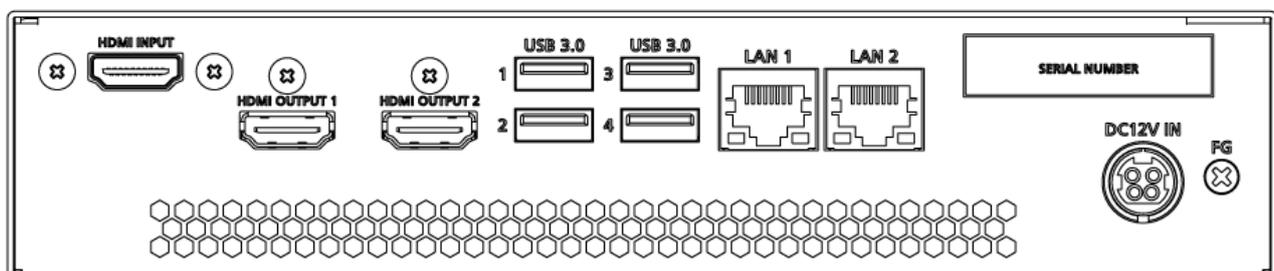
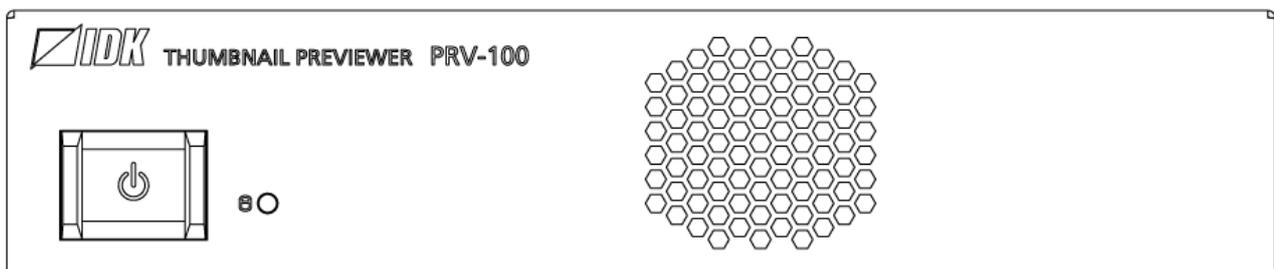


サムネイルプレビューア

PRV-100

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.1.3.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- Javascript®は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 本書中の弊社で提供するプログラムは、Microsoft .NET Framework に基づくアプリケーションです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される画面構成やメニューなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、「ユーザーズガイド（本書）」と「コマンドガイド」から構成され、分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。

なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止

●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・AC アダプターは傷つけない</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・AC アダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---	---

注意

設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ● ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ● 通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ● 本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ● コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ● 海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ● ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ● ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 高温面注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ● 付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ● お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ● 定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

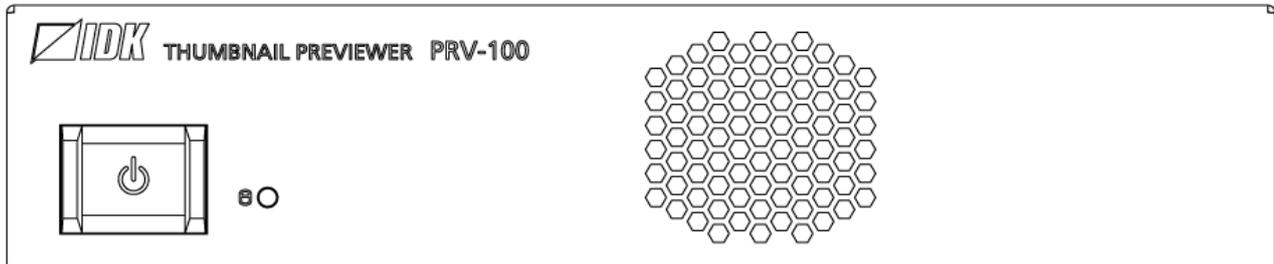
1	同梱物の確認.....	9
2	製品概要.....	10
3	特長.....	11
4	各部の名称とはたらき.....	12
5	システム構成例.....	13
6	お使いになる前に.....	14
6.1	設置について.....	14
6.2	接続について.....	14
6.2.1	ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い.....	15
7	基本操作.....	17
7.1	LAN 通信による制御.....	17
7.2	WEB ブラウザによる制御.....	17
8	WEB ブラウザ.....	18
8.1	Main.....	19
8.2	Image.....	20
8.2.1	固定画像一覧.....	20
8.2.2	固定画像のアップロード.....	21
8.2.3	固定画像の削除.....	21
8.3	H.264.....	22
8.3.1	配信先設定.....	22
8.3.2	エンコード設定.....	23
8.4	Layout.....	24
8.4.1	レイアウト変更.....	24
8.4.2	レイアウト表示設定.....	25
8.5	Pattern.....	26
8.5.1	簡易分割.....	26
8.5.2	詳細分割.....	27
8.6	Text.....	28
8.6.1	チャンネル表示テキスト一括変更.....	28
8.6.2	固定画像表示テキスト一括変更.....	29
8.6.3	チャンネル表示テキスト変更.....	30
8.6.4	固定画像表示テキスト変更.....	31
8.6.5	テキスト表示設定一括変更.....	32
8.6.6	テキスト表示設定.....	33
8.7	Sequence.....	34
8.7.1	スタートアップ処理.....	34
8.7.2	レイアウト自動切り換え.....	35
8.7.3	チャンネル自動取得.....	36
8.7.4	チャンネル連動機能.....	37
8.8	Maintenance.....	38
8.8.1	設定画面タイトル.....	38
8.8.2	設定のバックアップ.....	39
8.8.3	設定のリストア.....	39
8.8.4	設定を工場出荷時の状態に戻す.....	39
8.8.5	シャットダウン、再起動.....	40
8.8.6	ログイン設定.....	40
8.8.7	LAN 設定.....	41

8.9	Version.....	42
9	製品仕様.....	43
10	正常に動作しないときは	44

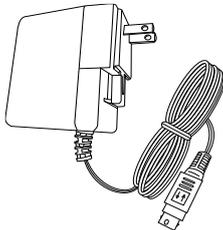
1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

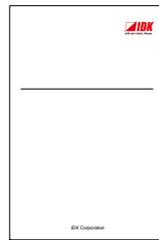
万一、同梱物に不備がございましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



PRV-100 本体 … 1 台



ロック付き DIN プラグ
AC アダプタ (1.2 m) … 1 個



取扱説明書 (本書) … 1 冊

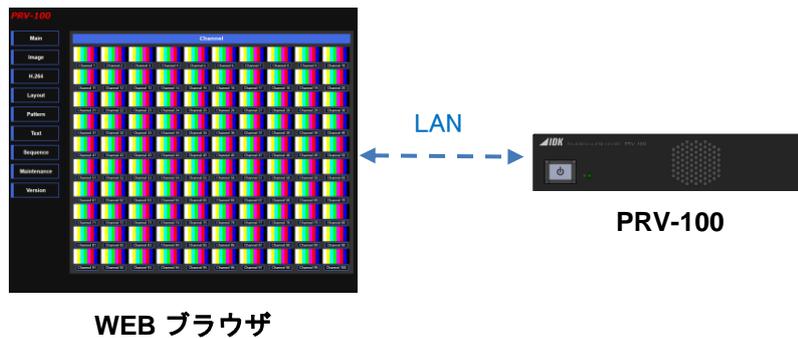
[図 1.1] 同梱物の一覧

2 製品概要

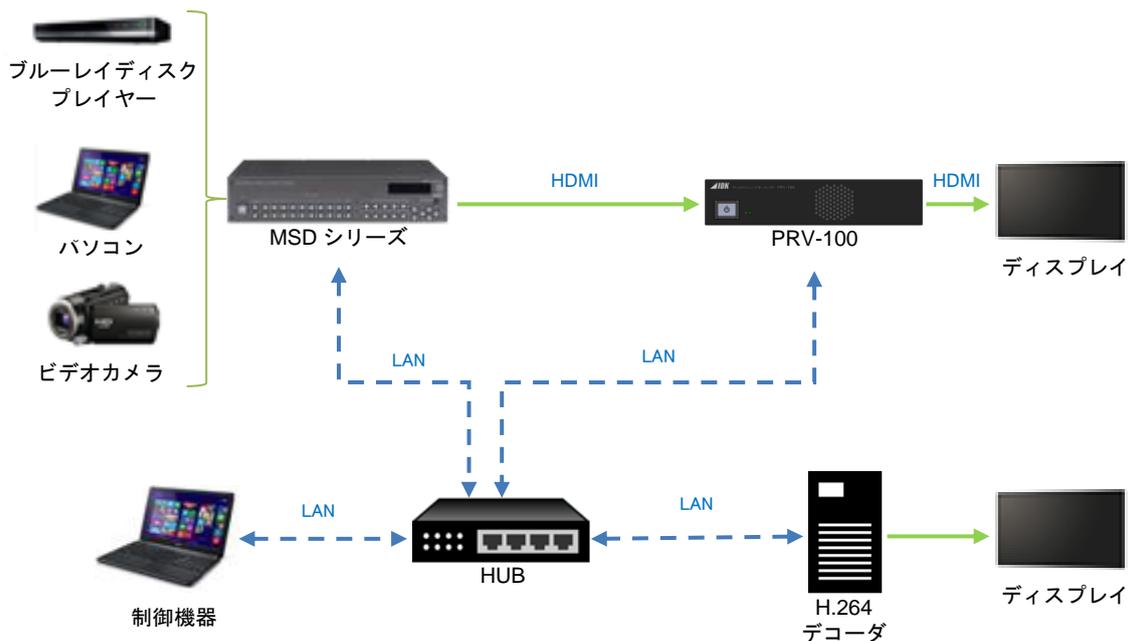
PRV-100 (以下、「本機」とする) は入力した HDMI 信号からサムネイル画像を作成して表示する機器です。サムネイル画像は最大 100 画像まで各チャンネルに保存が可能です。保存したサムネイル画像は自由なレイアウトで HDMI 信号として出力できます。

エンコード機能を使用することで、入力した HDMI 信号を H.264 形式にエンコードして、ユニキャストまたはマルチキャストで配信ができます。

また、WEB ブラウザから本機の制御と各種設定ができます。



[図 2.1] WEB ブラウザからの遠隔操作



[図 2.2] システム構成例

【参考】本機の WEB ブラウザ画面には、Javascript 機能を使用しています。

WEB ブラウザから本機を設定する場合は、WEB ブラウザの Javascript を必ず有効に設定してください。Javascript を有効に設定するには各 WEB ブラウザの取扱説明書をご確認ください。

3 特長

本機の特長は次のとおりです。

■ サムネイル表示

- ・ サムネイル画像数：100 画像
- ・ HDMI 信号から定期的にサムネイル画像を取得可能
- ・ 表示レイアウト登録数：128 個

■ H.264

- ・ 配信方式：ユニキャスト / マルチキャスト
- ・ 最大解像度：1920x1080
- ・ 最大ビットレート：8 Mbps
- ・ 最大フレームレート：60 fps

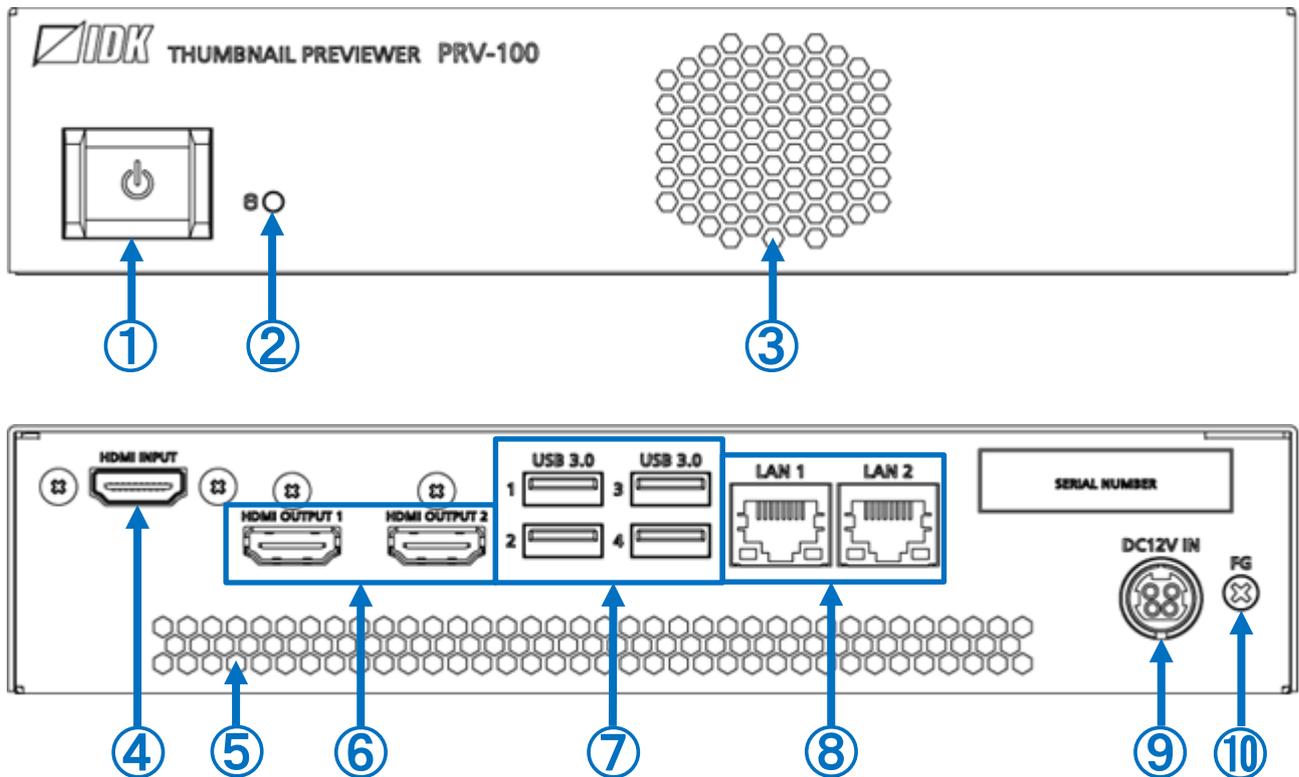
■ 外部制御

- ・ WEB ブラウザによる操作で、別途設定ソフトウェアのインストールは不要
- ・ HDMI 信号を送信する IDK 製品と連動することで、一画面で複数チャンネルを確認可能

■ その他

- ・ 本体 AC アダプタ接続部はロック機構搭載

4 各部の名称とはたらき



[図 4.1] PRV-100 の外観図

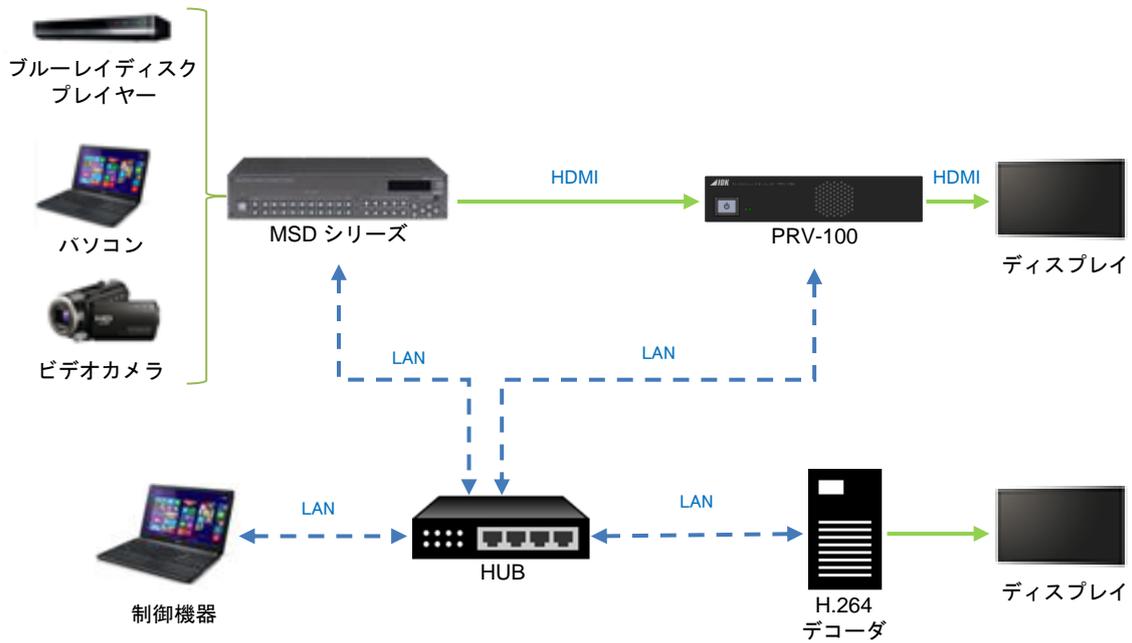
[表 4.1] PRV-100 の各名称の説明

番号	名称	説明
①	電源ボタン (ランプ)	本機の電源を ON または OFF に切り換えます。 緑点灯： 電源オンの状態 消灯： 電源オフの状態
②	アクセスランプ	ディスクアクセスの状態を確認できます。 緑点灯： アクセス中 消灯： アクセス無し
③	冷却ファン	本体内部を冷却するための給気用のファンです。
④	HDMI 入力コネクタ	HDMI 信号の入力コネクタです。 サムネイル画像として保存するソース機器と接続します。
⑤	通風孔	本体内部の温度上昇を抑えるための通風孔です。
⑥	HDMI 出力コネクタ	保存したサムネイル画像を HDMI 信号として出力します。*
⑦	USB コネクタ	メンテナンス用です。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑧	LAN コネクタ	LAN 信号の接続コネクタです。
⑨	電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
⑩	フレームグラウンド	M3 ねじを使用しています。屋内のアース端子と接続します。

*HDMI 出力コネクタは 2 系統の同時出力はできません。そのため、どちらか一方の HDMI 出力コネクタにのみ外部機器を接続してください。

5 システム構成例

次の図は、本機と外部機器の接続例です。



[図 5.1] システム構成例

6 お使いになる前に

本機をお使いになる前に、本章の内容をお読みください。

6.1 設置について

本機を設置するときは、次の項目をお守りください。

- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 通風孔、冷却ファンをふさがないでください。
周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
- ・ 本機を囲われた空間に設置しないでください。
EIA ラックマウントへの設置で、弊社製ラック取付金具 (型番 : RM-44S、RM-44D、RM-SH) への取り付けを除き、囲われた空間に設置が必要な場合は、本機の周辺温度が 40 °C 以下になるよう別途換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

6.2 接続について

本機を外部機器と接続するときは、次の項目をお守りください。

- ・ 外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ケーブルを本機または外部機器と接続するときは、ケーブルを持つ前に設置された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去した状態で作業してください。
- ・ 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・ ケーブルはコネクタにしっかりと差し込み、接続してください。また、コネクタにストレスの与えない配線をしてください。

6.2.1 ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い

ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱いについて説明します。

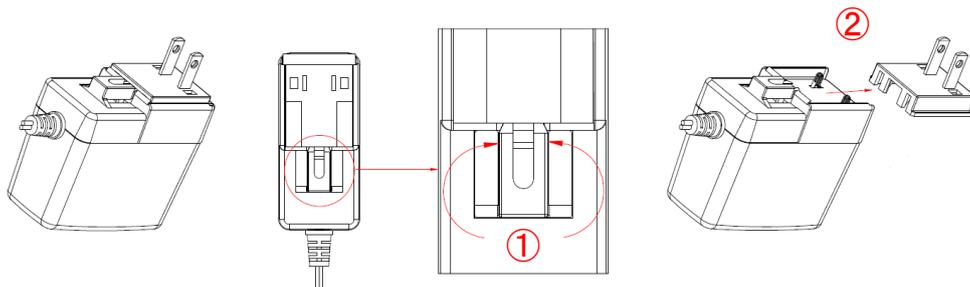
■ AC プラグの取り外しと取り付けて順

ネジ式ロック付き AC アダプタの AC プラグは、使用する国ごとに形状が異なりますので、適した AC プラグをお使いください。

なお、AC プラグのお問い合わせは、弊社営業部または各営業所までお願いします。

取り外し方法：

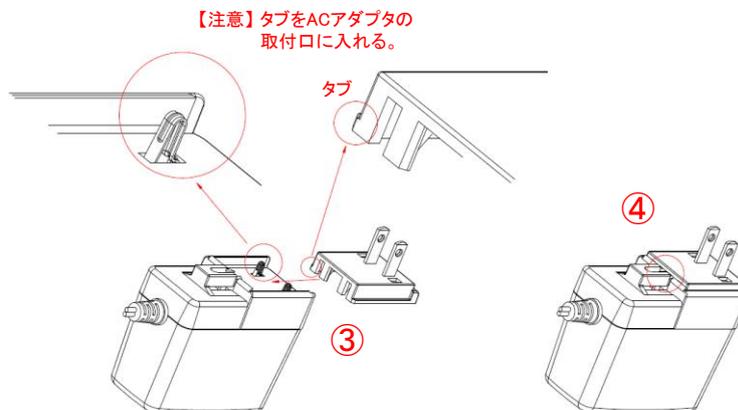
AC アダプタの継手を押しながら ①、AC プラグを AC アダプタからスライド ② して取り外します。



[図 6.1] AC プラグの取り外し方法 (図：国内用 AC プラグ)

取り付け方法：

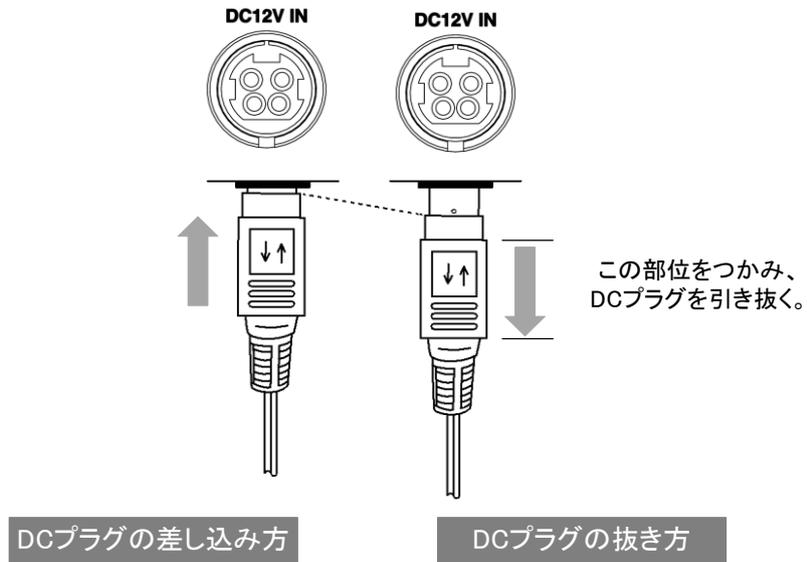
AC プラグを AC アダプタにセットし ③、“カチッ”と音がするまで差し込みます ④。



[図 6.2] AC プラグの取り付け方法 (図：国内用 AC プラグ)

■ DC プラグの差し込みと抜き方

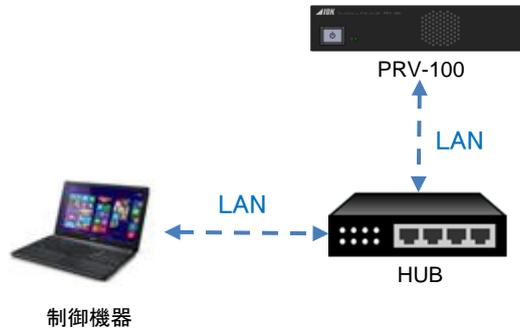
DC プラグは、“カチッ”と音がするまで確実に本体の電源コネクタへ差し込んでください。
また、電源コネクタから DC プラグを引き抜くときは、下図に示す部位をつかんでください。



[図 6.3] DC プラグの差し込みと抜き方

7 基本操作

本機の LAN コネクタをパソコンなどの制御機器と接続することで、LAN 通信または WEB ブラウザから、各種設定および制御ができます。



[図 7.1] 設定環境

7.1 LAN 通信による制御

本機は LAN 通信による外部制御が可能です。パソコンなどの制御機器と本機の LAN コネクタを LAN ケーブルで接続することで、通信コマンドを使って、本機の制御や状態の取得ができます。

通信コマンドの詳細は、別冊の「PRV-100 取扱説明書<コマンドガイド>」をご覧ください。

7.2 WEB ブラウザによる制御

LAN で接続された本機を Google Chrome などの WEB ブラウザからメニュー操作できます。この操作をするには、WEB ブラウザのアドレスバーに、本機に設定した IP アドレスを入力し、表示されるポップアップに設定した ID とパスワードを入力してください。

WEB ブラウザによる制御の詳細は **8 WEB ブラウザ (p.18)** をご覧ください。

[表 7.1] アドレスバーへの入力例

ポート番号	アドレスバーへの入力
80 番 (通常)	http://192.168.1.199

8 WEB ブラウザ

本機は Google Chrome などの WEB ブラウザから制御、各種設定およびメンテナンスを行うことができます。WEB ブラウザ設定へのアクセスは、WEB ブラウザのアドレスバーに「http:// ○○○.○○○.○○○.○○○」と入力し、表示されるポップアップに ID とパスワードを入力してください。○には、LAN ポートに設定されている IP アドレスを入力してください。

工場出荷時の IP アドレス

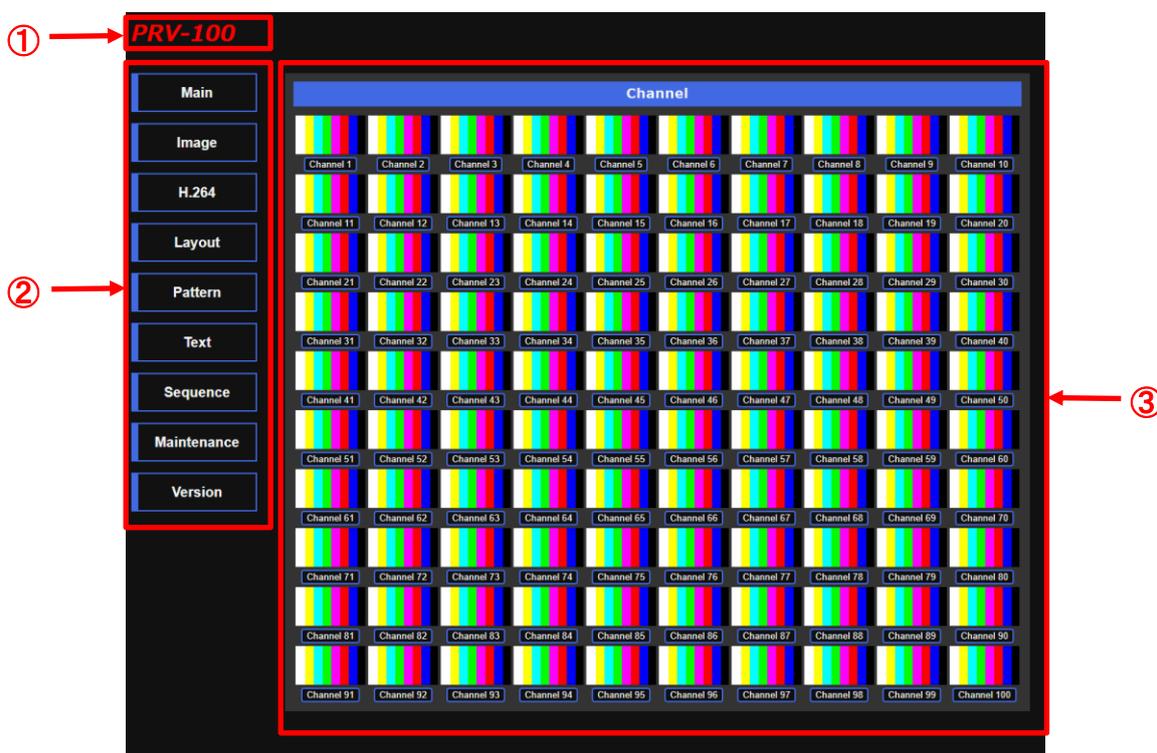
LAN1 : DHCP

LAN2 : 192.168.1.199

工場出荷時のログイン設定

ID : admin

パスワード : admin

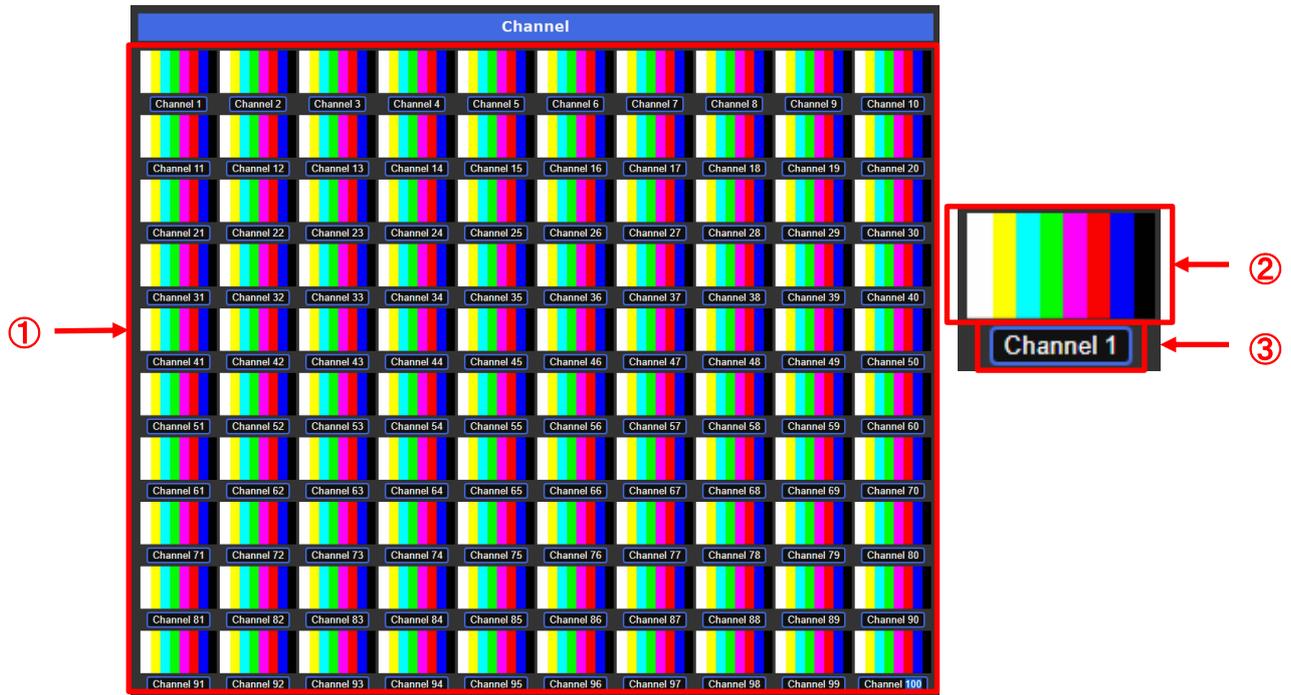


[図 8.1] WEB ブラウザ設定

- ① 設定画面のタイトルが表示されます。
- ② 各設定画面を表示するボタンです。
 - Main : チャンネル一覧
 - Image : 固定画像一覧
 - H.264 : H.264 配信の設定
 - Layout : 表示レイアウト設定
 - Pattern : 表示分割パターン設定
 - Text : 表示テキスト設定
 - Sequence : 定期処理設定
 - Maintenance : その他管理設定
- ③ 設定画面ごとにそれぞれの項目が表示されます。

8.1 Main

チャンネルに保存されているサムネイル画像の確認、保存およびダウンロードができます。



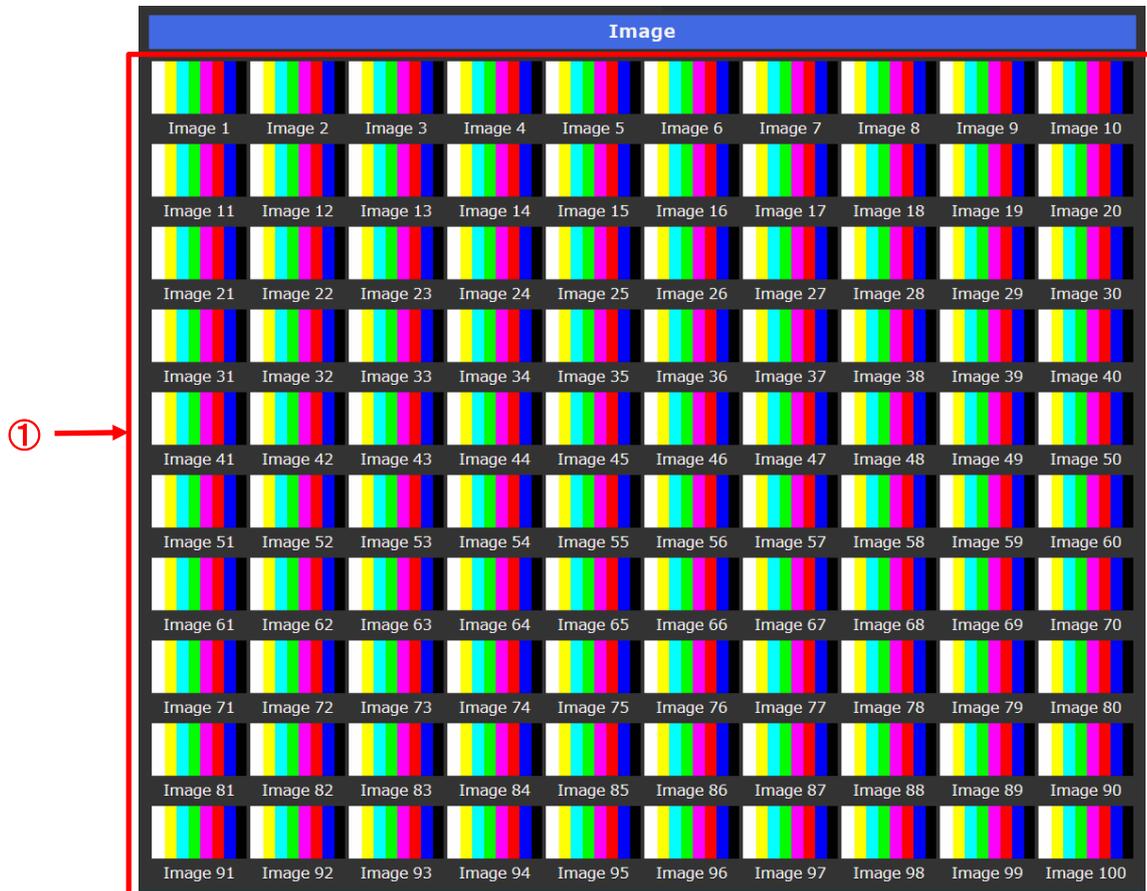
[図 8.2] チャンネル一覧

- ① 各チャンネルに保存されているサムネイル画像を一覧表示します。
- ② 画像をクリックすることでチャンネルに保存されているサムネイル画像をダウンロードできます。
- ③ HDMI 入力信号を本機の各チャンネルにサムネイル画像として保存するボタンです。サムネイル画像が取得できない場合は WEB ブラウザの一覧は更新されません。本機の表示にはサムネイル画像の取得失敗時の画像が表示されます。

8.2 Image

ロゴなどの固定画像の確認、アップロードおよび削除することができます。

8.2.1 固定画像一覧



[図 8.3] 固定画像一覧

- ① 固定画像を一覧表示します。
画像をクリックすることで保存されている固定画像をダウンロードできます。

8.2.2 固定画像のアップロード



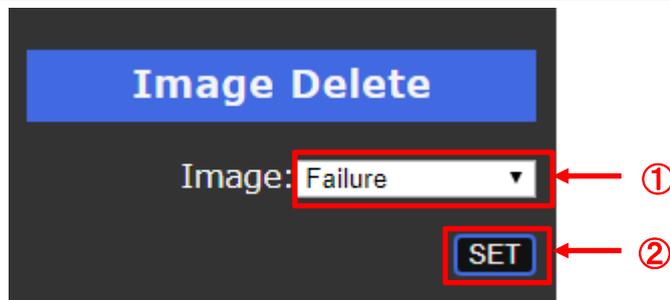
[図 8.4] 固定画像のアップロード

- ① アップロードする Image の番号を指定してください。
Failure はサムネイル画像の取得失敗時専用の画像になります。
- ② アップロードするする画像を指定してください。
JPEG ファイルまたは PNG ファイルが指定できます。
- ③ 画像を本機にアップロードします。

※不正なファイルを指定すると、「400 Bad Request」が表示されます。ファイルを確認して再度設定をお願いします。

※画像ファイルのサイズによっては、アップロードや表示の反映まで時間がかかる場合があります。

8.2.3 固定画像の削除



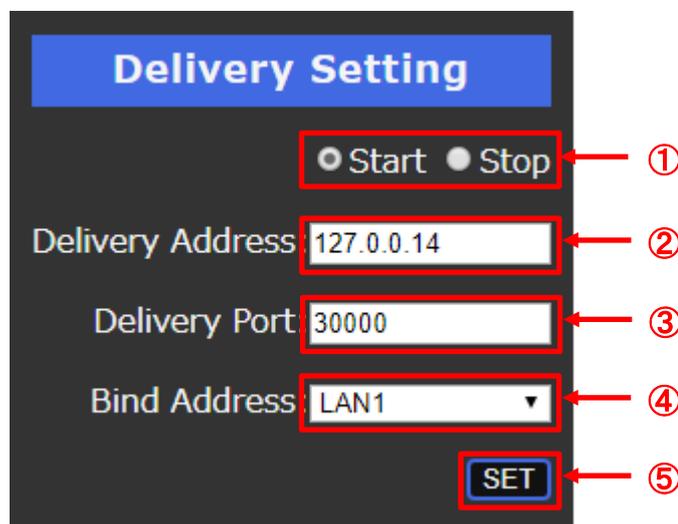
[図 8.5] 固定画像の削除

- ① 削除する Image の番号を指定します。
- ② 画像を本機から削除します。

8.3 H.264

H.264 の配信先とエンコードの設定ができます。

8.3.1 配信先設定

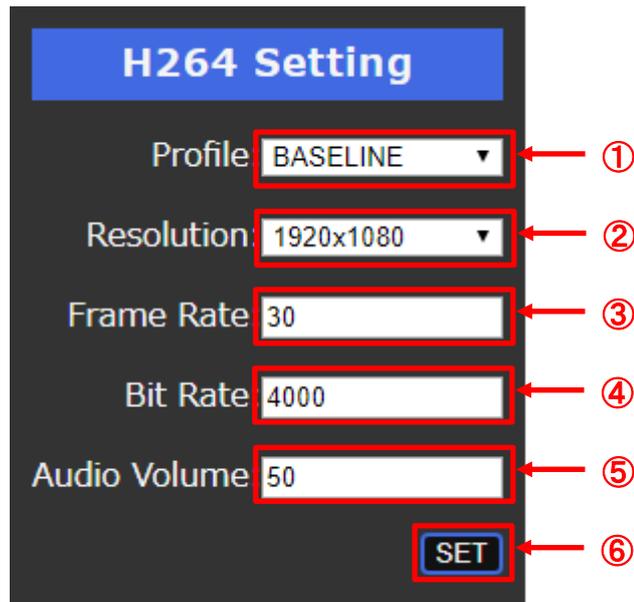


[図 8.6] H.264 配信先設定

- ① 配信の開始、停止を指定します。
- ② 配信する IP アドレスを入力してください。
- ③ 配信するポートを入力してください。
- ④ 配信時に使用する LAN コネクタを指定してください。
LAN1
LAN2
- ⑤ 本機に H.264 の配信先設定を反映します。

※設定値に誤りがあると、「400 Bad Request」が表示されます。設定値を確認して再度設定をお願いします。

8.3.2 エンコード設定



[図 8.7] H.264 エンコード設定

- ① H.264 プロファイルを選択してください。
BASELINE
MAIN
HIGH
- ② 解像度※を選択してください。
1920x1080
1280x1024
1280x960
1280x720
1024x768
800x600
720x576
720x480
640x480
- ③ フレームレート値を入力してください。
1 ~ 60 [fps] の範囲で指定が可能です。
- ④ ビットレート値を入力してください。
1 ~ 8000 [kbps] の範囲で指定が可能です。
- ⑤ 音量を入力してください。
0 ~ 100 の範囲で指定が可能です。
- ⑥ 本機に H.264 エンコード設定を反映します。

※H.264 配信の解像度は入力映像の解像度が上限になります。

8.4 Layout

レイアウト設定では、表示するチャンネルとテキストの設定を最大 128 個まで登録、変更することができます。

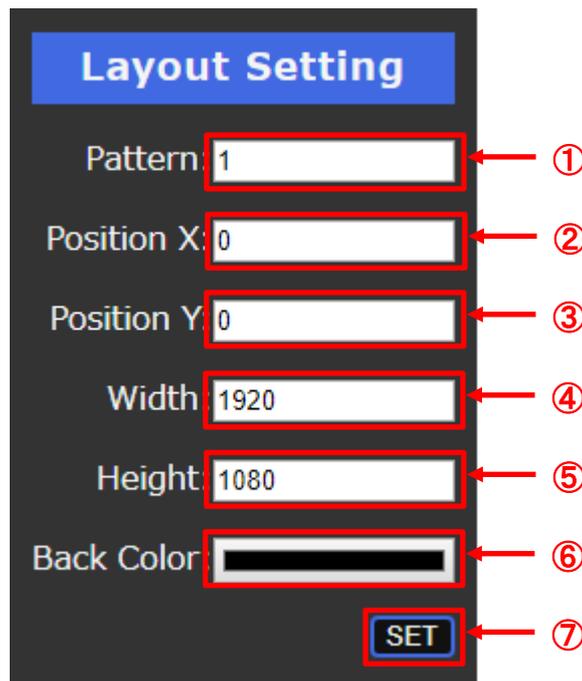
8.4.1 レイアウト変更



[図 8.8] レイアウト変更

- ① 変更するレイアウトを入力してください。
1～128 の範囲で指定が可能です。
- ② 表示するレイアウトを変更します。

8.4.2 レイアウト表示設定



[図 8.9] レイアウト表示設定

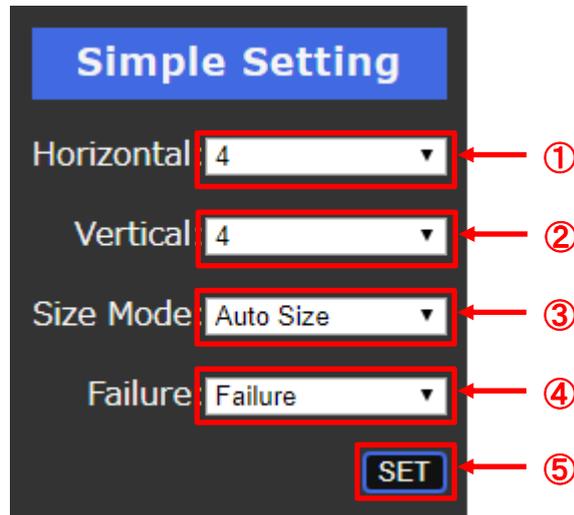
- ① レイアウトに表示する分割パターンを入力してください。
1～128 の範囲で指定が可能です。
- ② レイアウトを表示する X 座標を入力してください。
0～3840 [px] の範囲で指定が可能です。
- ③ レイアウトを表示する Y 座標を入力してください。
0～2160 [px] の範囲で指定が可能です。
- ④ レイアウトを表示する横幅を入力してください。
1～3840 [px] の範囲で指定が可能です。
- ⑤ レイアウトを表示する縦幅を入力してください。
1～2160 [px] の範囲で指定が可能です。
- ⑥ サムネイル画像の背景に表示する色を指定してください。
- ⑦ 本機にレイアウト設定を反映します。

8.5 Pattern

パターン設定では、表示する各チャンネルの分割パターンを設定できます。

8.5.1 簡易分割

簡易分割では横と縦の分割数を指定することで等分割にチャンネルを表示することができます。設定は表示中の分割パターンに反映されます。

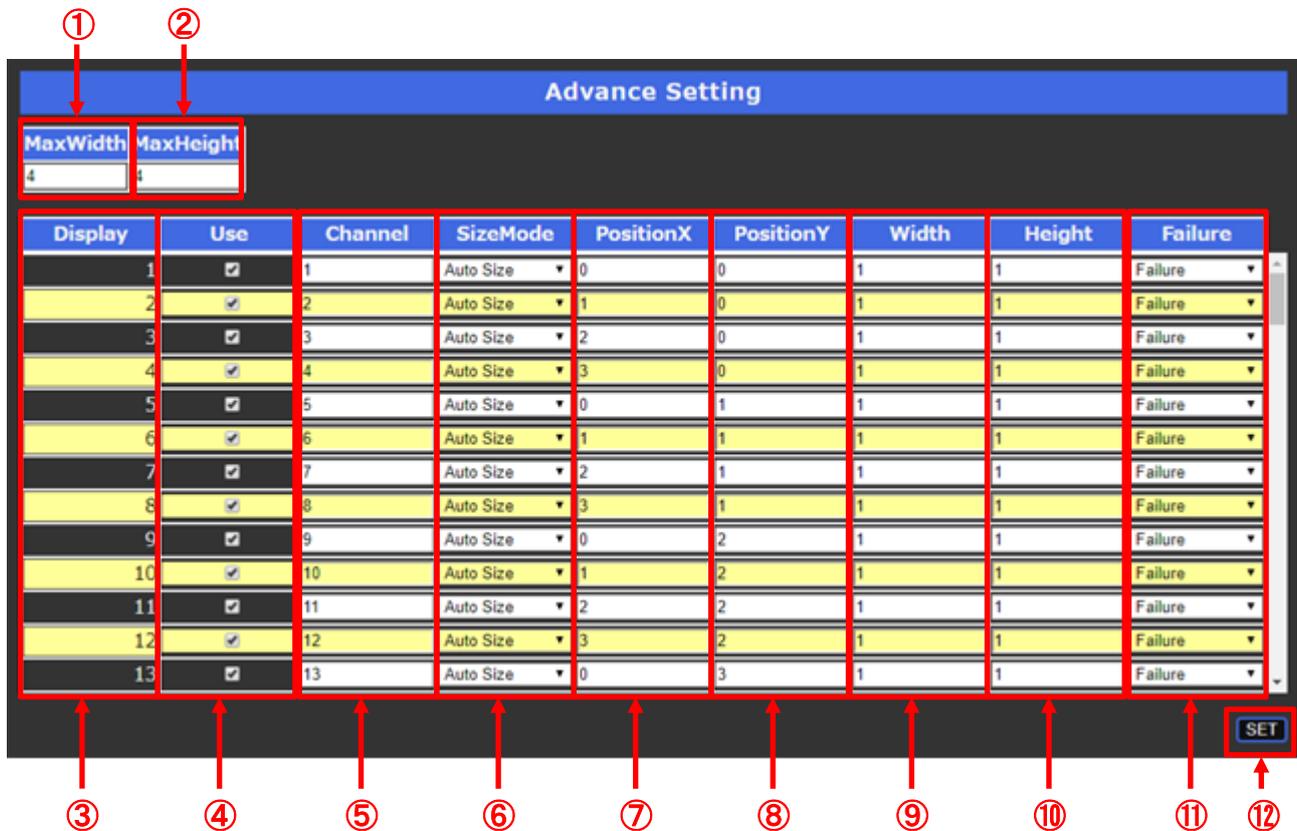


[図 8.10] 簡易分割

- ① 等分割する横方向の数を指定してください。
- ② 等分割する縦方向の数を指定してください。
- ③ サムネイル画像の表示方法を選択してください。
 - Normal : 画像を画面左上に合わせて表示
 - Center Image : 画像を画面中央に合わせて表示
 - Stretch Image : 画像を画面の大きさに伸縮して表示
 - Auto Size : 画像のアスペクト比を維持して伸縮表示
- ④ サムネイル画像の取得失敗時に表示する固定画像を指定してください。
 - Failure : サムネイル画像の取得失敗時専用画像
 - Image1~100 : アップロードした固定画像
- ⑤ 現在表示中の分割パターンに設定を反映します。

8.5.2 詳細分割

詳細分割では各チャンネルの表示位置、表示サイズを指定することで自由な分割にすることができます。設定は表示中の分割パターンに反映されます。



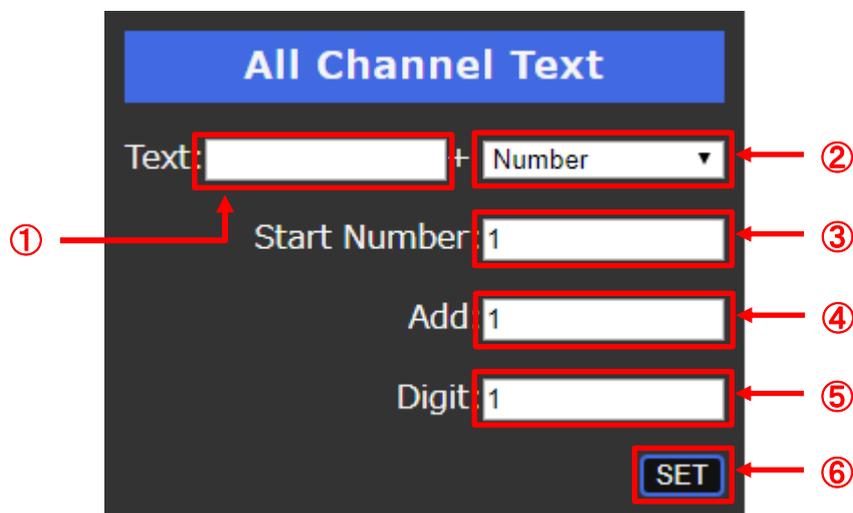
[図 8.11] 詳細分割

- ① 分割を設定するための横幅の最大値を入力してください。
入力した値を元にサムネイル画像を表示する X 座標と横幅を設定します。
- ② 分割を設定するための縦幅の最大値を入力してください。
入力した値を元にサムネイル画像を表示する Y 座標と縦幅を設定します。
- ③ 表示番号です。
1 が最前面、100 が最背面に表示されます。
- ④ 表示、非表示を指定してください。
- ⑤ 表示するチャンネル、固定画像を入力してください。
101～200 の入力で固定画像の 1～100 が表示されます。
- ⑥ サムネイル画像の表示方法を選択してください。
Normal : 画像を画面左上に合わせて表示
Center Image : 画像を画面中央に合わせて表示
Stretch Image : 画像を画面の大きさに伸縮して表示
Auto Size : 画像のアスペクト比を維持して伸縮表示
- ⑦ サムネイル画像を表示する X 座標を入力してください。
- ⑧ サムネイル画像を表示する Y 座標を入力してください。
- ⑨ サムネイル画像を表示する横幅を入力してください。
- ⑩ サムネイル画像を表示する縦幅を入力してください。
- ⑪ サムネイル画像の取得失敗時に表示する固定画像を指定してください。
Failure : サムネイル画像の取得失敗時専用画像
Image1～100 : アップロードした固定画像
- ⑫ 現在表示中の分割パターンに設定を反映します。

8.6 Text

チャンネルに表示するテキストを設定できます。

8.6.1 チャンネル表示テキスト一括変更

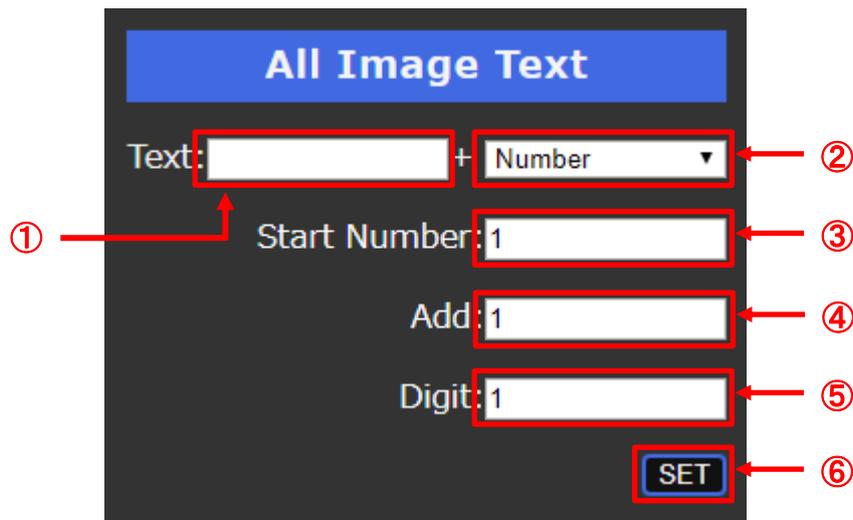


[図 8.12] チャンネル表示テキスト一括変更

- ① すべてのチャンネルに表示するテキストを入力してください。
15文字*まで入力が可能です。
- ② 表示するテキストの後に追加する項目を選択してください。
None : 要素の追加なし
Number : 表示ごとに数値を追加
- ③ 数値を追加するときの最初の値を指定してください。
-9999~9999の範囲で指定が可能です。
- ④ 数値を追加するときの加算値を入力してください。
-999~999の範囲で指定が可能です。
- ⑤ 数値を追加するときの桁数を入力してください。
1~6の範囲で指定が可能です。
- ⑥ 本機に表示テキストを反映します。

※表示テキストに「,(カンマ)」は設定することができません。設定されている場合ポップアップ警告が表示されます。入力を確認して再度設定をお願いします。

8.6.2 固定画像表示テキスト一括変更



[図 8.13] 固定画像表示テキスト一括変更

- ① すべての固定画像に表示するテキストを入力してください。
15文字*まで入力が可能です。
- ② 表示するテキストの後に追加する項目を選択してください。
None : 要素の追加なし
Number : 表示ごとに数値を追加
- ③ 数値を追加するときの最初の値を指定してください。
-9999～9999の範囲で指定が可能です。
- ④ 数値を追加するときの加算値を入力してください。
-999～999の範囲で指定が可能です。
- ⑤ 数値を追加するときの桁数を入力してください。
1～6の範囲で指定が可能です。
- ⑥ 本機に表示テキストを反映します。

※表示テキストに「,(カンマ)」は設定することができません。設定されている場合ポップアップ警告が表示されます。入力を確認して再度設定をお願いします。

8.6.4 固定画像表示テキスト変更

Image Text									
Image1	Image2	Image3	Image4	Image5	Image6	Image7	Image8	Image9	Image10
Image1	Image2	Image3	Image4	Image5	Image6	Image7	Image8	Image9	Image10
Image11	Image12	Image13	Image14	Image15	Image16	Image17	Image18	Image19	Image20
Image21	Image22	Image23	Image24	Image25	Image26	Image27	Image28	Image29	Image30
Image31	Image32	Image33	Image34	Image35	Image36	Image37	Image38	Image39	Image40
Image41	Image42	Image43	Image44	Image45	Image46	Image47	Image48	Image49	Image50
Image51	Image52	Image53	Image54	Image55	Image56	Image57	Image58	Image59	Image60
Image61	Image62	Image63	Image64	Image65	Image66	Image67	Image68	Image69	Image70
Image71	Image72	Image73	Image74	Image75	Image76	Image77	Image78	Image79	Image80
Image81	Image82	Image83	Image84	Image85	Image86	Image87	Image88	Image89	Image90
Image91	Image92	Image93	Image94	Image95	Image96	Image97	Image98	Image99	Image100
Image91	Image92	Image93	Image94	Image95	Image96	Image97	Image98	Image99	Image100

SET

①

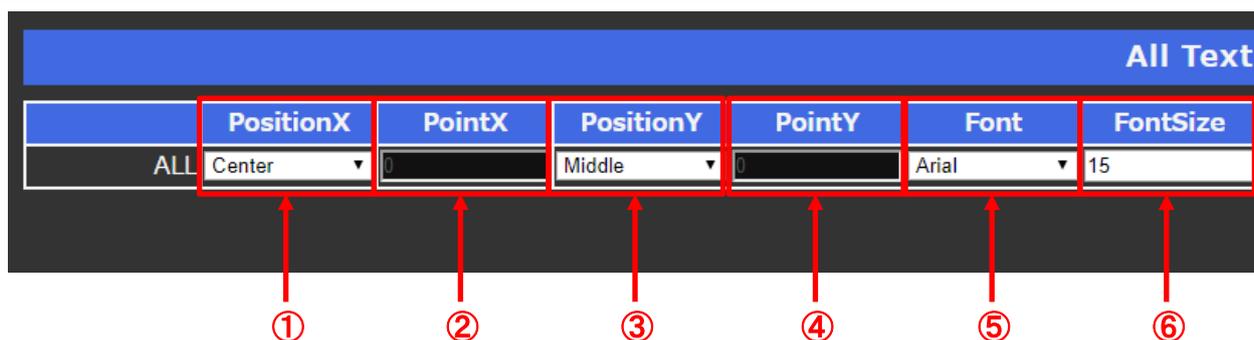
②

[図 8.15] 固定画像表示テキスト変更

- ① 各固定画像に表示するテキストを入力してください。
15文字*まで入力が可能です。
- ② 本機に表示テキストを反映します。

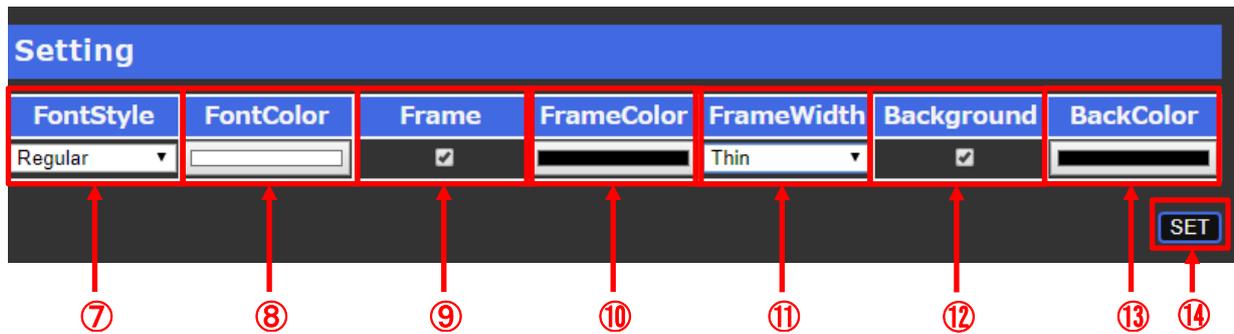
※表示テキストに「,(カンマ)」は設定することができません。設定されている場合ポップアップ警告が表示されます。入力を確認して再度設定をお願いします。

8.6.5 テキスト表示設定一括変更



[図 8.16] テキスト表示設定一括変更 1

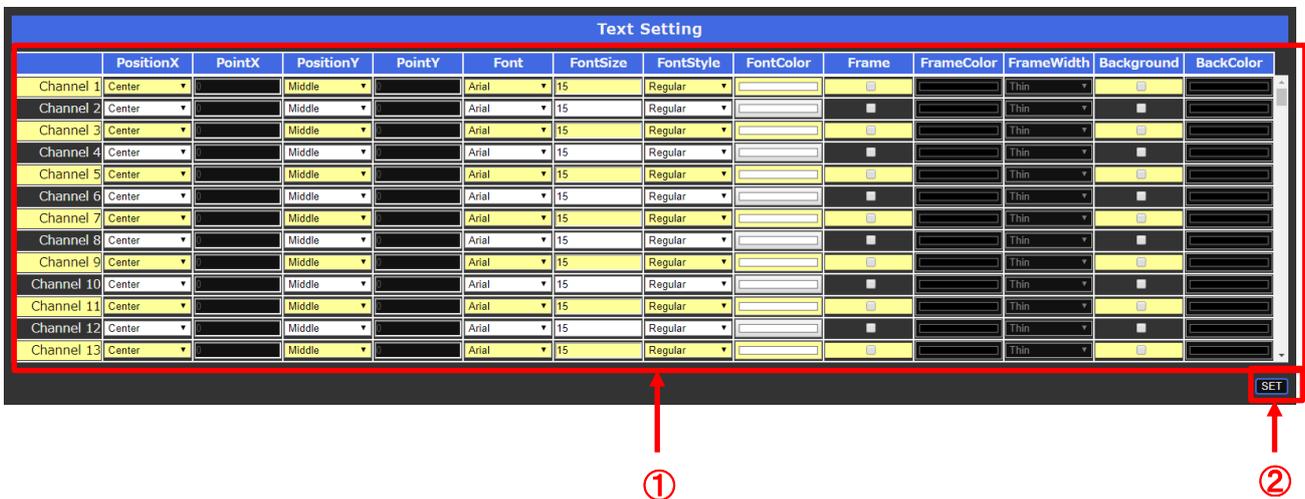
- ① 表示する横位置を選択してください。
 - Center : 中央に揃えて表示
 - Right : 右に揃えて表示
 - Optional : X座標を指定して表示
- ② 表示するX座標を入力してください。
0～1920の範囲で指定が可能です。
- ③ 表示する縦位置を選択してください。
 - Middle : 中央に揃えて表示
 - Bottom : 下に揃えて表示
 - Optional : Y座標を指定して表示
- ④ 表示するY座標を入力してください。
0～1080の範囲で指定が可能です。
- ⑤ テキストフォントを選択してください。
 - Arial
 - Georgia
 - Impact
 - Lucida Console
 - Times New Roman
 - Verdana
 - メイリオ
 - Meiryo UI
 - MS Pゴシック
 - MS P明朝
 - MS ゴシック
 - MS 明朝
- ⑥ フォントサイズを入力してください。
1～100 [pt] の範囲で指定が可能です。



[図 8.17] テキスト表示設定一括変更 2

- ⑦ フォントスタイルを選択してください。
 Regular : 通常のフォントスタイル
 Bold : 太文字
 Italic : イタリック体
 Bold&Italic : 太文字&イタリック体
- ⑧ フォントカラーを指定してください。
- ⑨ 文字の枠線を表示するか選択してください。
- ⑩ 枠線カラーを指定してください。
- ⑪ 枠線の太さを選択してください。
- ⑫ 文字背景色を表示するか選択してください。
- ⑬ 背景色カラーを指定してください。
- ⑭ 本機にテキスト表示設定を反映します。

8.6.6 テキスト表示設定



[図 8.18] テキスト表示設定

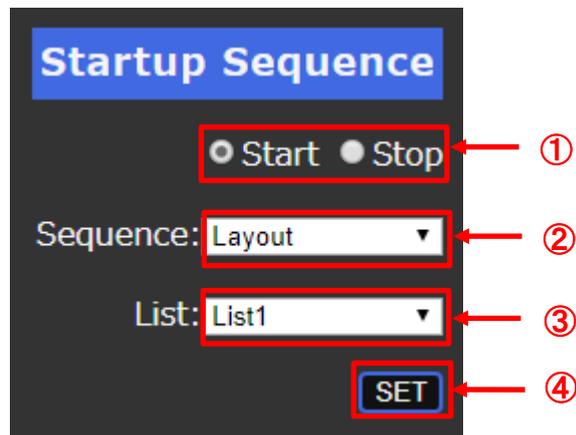
- ① 各チャンネル、固定画像のテキスト表示設定を入力してください。
 設定の詳細は **8.6.5 テキスト表示設定一括変更 (p.32)** を参照してください。
- ② 本機にテキスト表示設定を反映します。

8.7 Sequence

レイアウトの自動切り換えやチャンネルの自動取得などの繰り返し処理を登録できます。

8.7.1 スタートアップ処理

本機が起動したときに登録してある繰り返し処理を開始することができます。

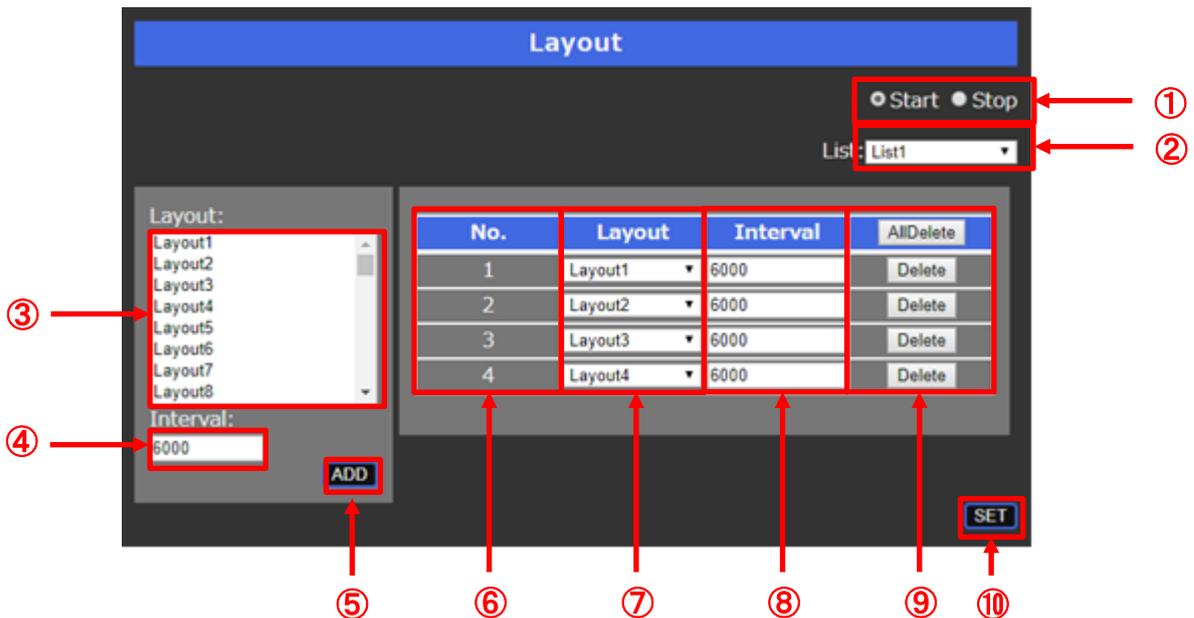


[図 8.19] スタートアップ処理

- ① スタートアップ処理の開始または停止を選択してください。
- ② 処理を開始する項目を選択してください。
 - Layout
 - Channel
 - Command Link
- ③ 処理を開始するリスト番号を指定してください。
- ④ 本機にスタートアップ処理の設定を反映します。

8.7.2 レイアウト自動切り換え

レイアウトを自動的に切り換える順番と切り換えまでの間隔を設定できます。

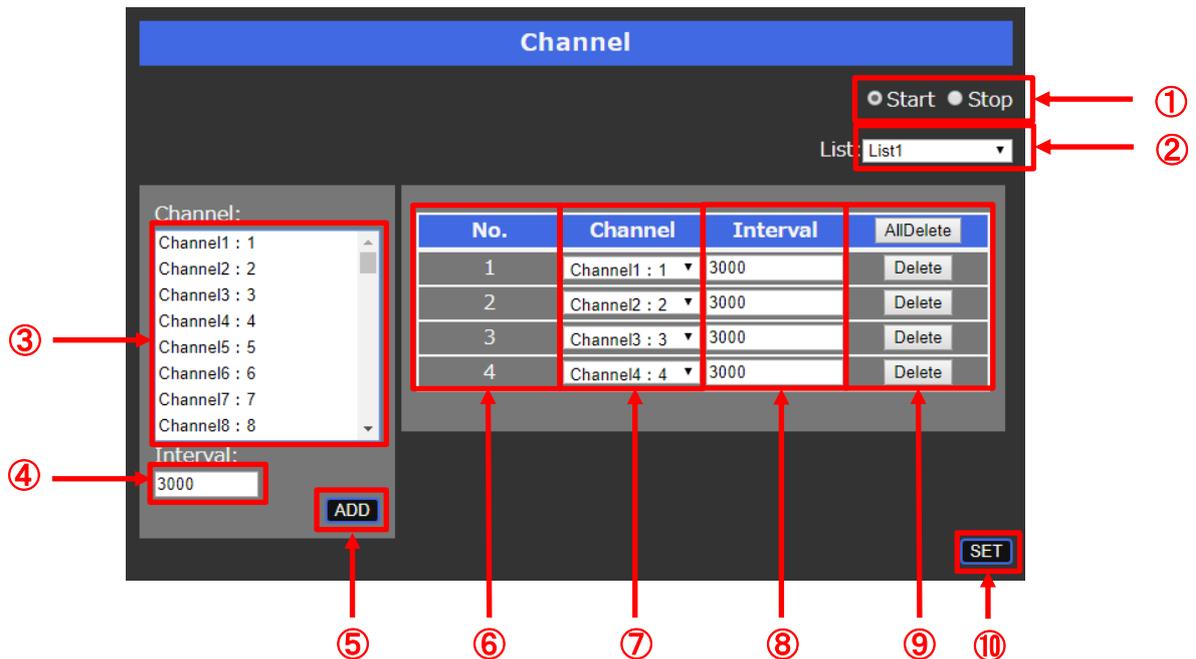


[図 8.20] レイアウト自動切り換え

- ① 自動切り換えの開始または停止を選択してください。
- ② 登録するリスト番号を指定してください。
リスト番号を変更すると過去に設定した内容を読み込みます。
- ③ 切り換えるレイアウトを選択してください。
複数選択することができます。
- ④ レイアウトを切り換える間隔を入力してください。
6000～600000 [ms] の範囲で指定が可能です。
- ⑤ ③で選択した項目を④で入力した間隔で登録します。
- ⑥ レイアウトを自動で切り換える順番です。
すべての切り換えを終えると No.1 の切り換えに戻ります。
- ⑦ 切り換えを行うレイアウトを変更できます。
- ⑧ レイアウトを切り換える間隔を変更できます。
6000～600000 [ms] の範囲で変更が可能です。
- ⑨ 登録を削除します。
- ⑩ 本機にレイアウト自動切り換えの設定を反映します。
リスト番号に設定内容を保存します。

8.7.3 チャンネル自動取得

チャンネルが自動的にサムネイル画像を取得する順番と、取得するまでの間隔を設定できます。

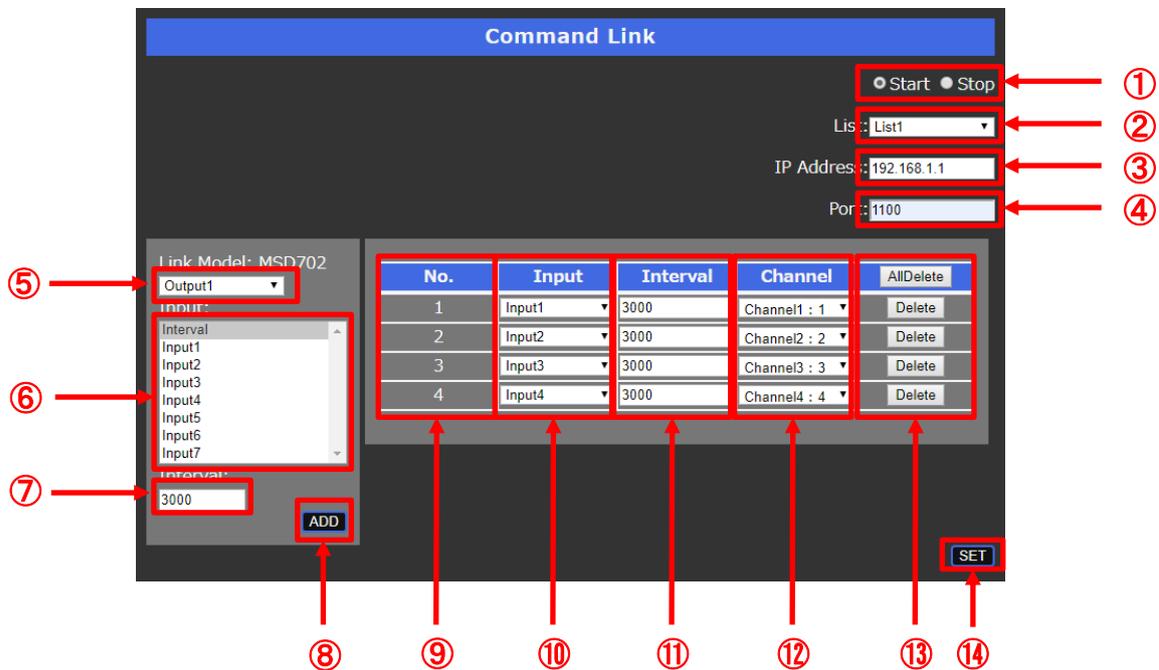


[図 8.21] チャンネル自動取得

- ① 自動取得の開始または停止を選択してください。
- ② 登録するリスト番号を指定してください。
リスト番号を変更すると過去に設定した内容を読み込みます。
- ③ 自動取得するチャンネルを選択してください。
複数選択することができます。
- ④ サムネイル画像を取得する間隔を入力してください。
3000～600000 [ms] の範囲で指定が可能です。
- ⑤ ③で選択した項目を④で入力した間隔で登録します。
- ⑥ チャンネルが自動でサムネイル画像を取得する順番です。
- ⑦ 取得するチャンネルを変更できます。
すべての取得を終えると No.1 の取得に戻ります。
- ⑧ サムネイル画像を取得する間隔を変更できます。
3000～600000 [ms] の範囲で変更が可能です。
- ⑨ 登録を削除します。
- ⑩ 本機にチャンネル自動取得の設定を反映します。
リスト番号に設定内容を保存します。

8.7.4 チャンネル連動機能

本機は LAN 通信を使用して外部機器の制御ができます。チャンネル連動機能では外部機器の入力チャンネルと本機のチャンネルを連動させることで、自動的にサムネイル画像を取得し、外部機器の入力を切り換えることができます。



[図 8.22] チャンネル連動機能

- ① 連動機能の開始または停止を選択してください。
- ② 登録するリスト番号を指定してください。
リスト番号を変更すると過去に設定した内容を読み込みます。
- ③ 制御する外部機器の IP アドレスを入力してください。
- ④ 制御する外部機器のポート番号を入力してください。
- ⑤ 制御する外部機器の出力を選択してください。
Optional では任意のコマンドを送信することができます。
- ⑥ 切り換える外部機器の入力を選択してください。
Interval を選択した場合は、サムネイル画像の取得のみ行います。
複数選択することができます。
- ⑦ 外部機器の入力チャンネルを切り換えた後に、サムネイル画像を取得する間隔を入力してください。
3000～600000 [ms] の範囲で指定が可能です。
- ⑧ ⑥で選択した項目を⑦で入力した間隔で登録します。
- ⑨ 外部機器の入力チャンネルを自動で切り換える順番です。
すべての切り換えを終えると No.1 の切り換えに戻ります。
- ⑩ 外部機器の入力チャンネルを変更できます。
- ⑪ 外部機器の入力チャンネルを切り換えた後に、サムネイル画像を取得する間隔を変更できます。
3000～600000 [ms] の範囲で変更が可能です。
- ⑫ 外部機器の入力チャンネルと連動する本機のチャンネルを変更できます。
- ⑬ 登録を削除します。
- ⑭ 本機にチャンネル連動機能の設定を反映します。
リスト番号に設定内容を保存します。

8.8 Maintenance

8.8.1 設定画面タイトル

設定画面に表示するタイトルを設定できます。



[図 8.23] 設定画面タイトル

- ① 製品名の表示、非表示を選択してください。
- ② 追加するタイトルを入力してください。
30文字まで入力が可能です。
- ③ 本機にタイトルの設定を反映します。

※設定反映後、WEB ブラウザを更新することでタイトルが変更されます。

8.8.2 設定のバックアップ



[図 8.24] 設定のバックアップ

- ① 本機の状態をバックアップファイルとしてダウンロードします。

8.8.3 設定のリストア



[図 8.25] 設定のリストア

- ① 8.8.2 設定のバックアップ (p.39) でダウンロードしたバックアップファイルを選択してください。
- ② 本機の状態を選択したバックファイルの状態に戻します。

※本機から取得したバックアップファイル以外を使用すると、「400 Bad Request」が表示されます。ファイルを確認して再度設定をお願いします。

※IP アドレスが変更され通信が切断されることがあります。切断されたときは、WEB ブラウザのアドレスバーに新しい IP アドレスを再設定してください。

8.8.4 設定を工場出荷時の状態に戻す

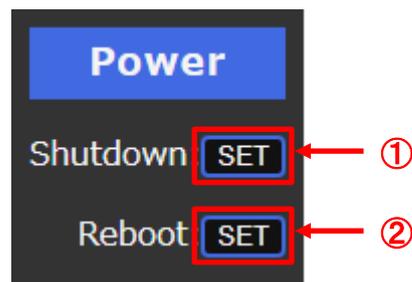


[図 8.26] 工場出荷時の状態に戻す

- ① 本機の状態を工場出荷時に戻します。

※IP アドレスが変更され通信が切断されることがあります。切断されたときは、WEB ブラウザのアドレスバーに新しい IP アドレスを再設定してください。

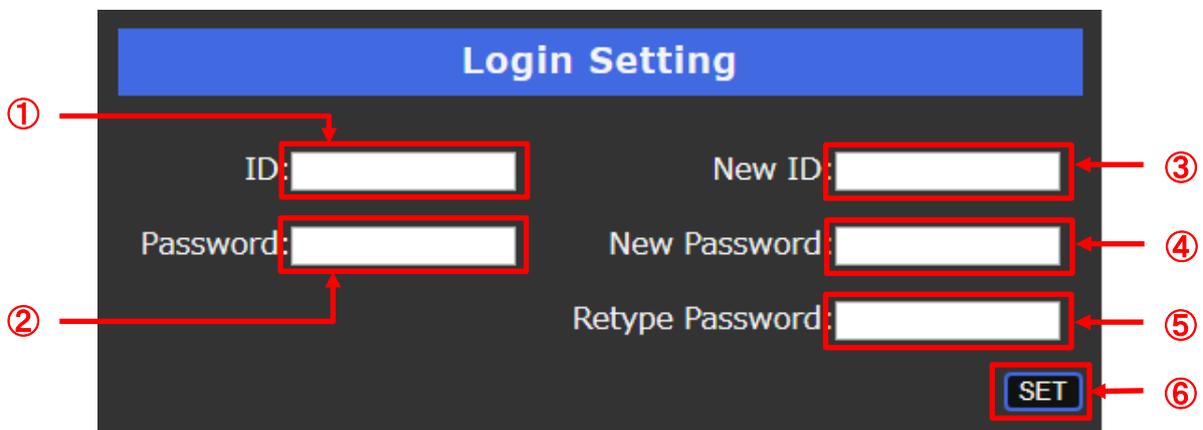
8.8.5 シャットダウン、再起動



[図 8.27] シャットダウン、再起動

- ① 本機をシャットダウンします。
- ② 本機を再起動します。

8.8.6 ログイン設定

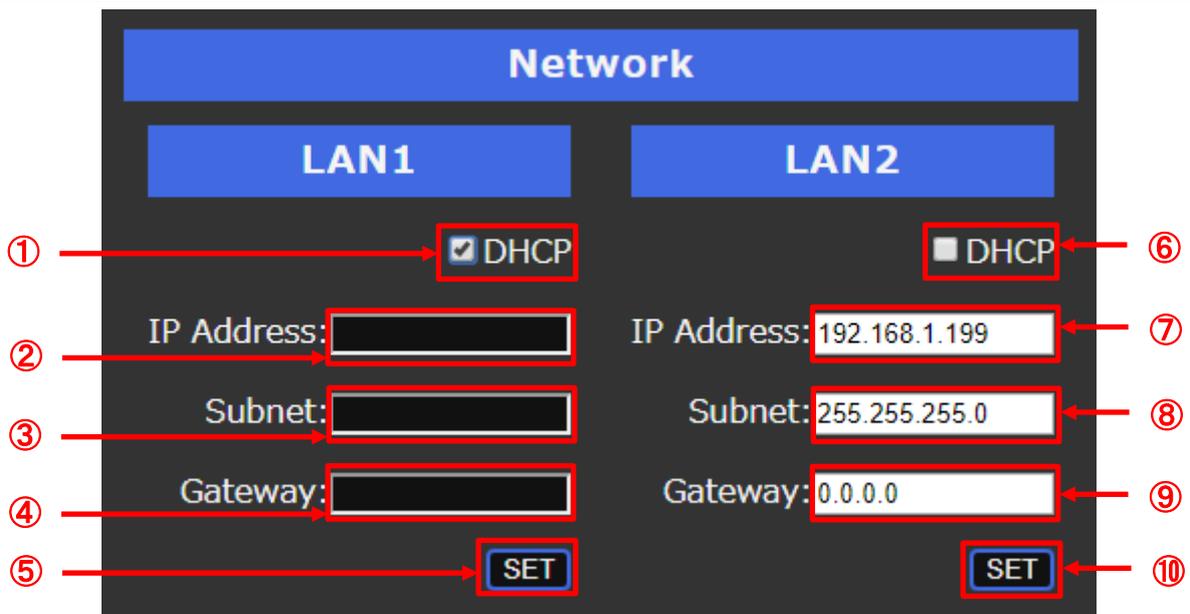


[図 8.28] ログイン設定

- ① 設定されているログイン ID を入力してください。
- ② 設定されているログインパスワードを入力してください。
- ③ 新しいログイン ID を入力してください。
- ④ 新しいログインパスワードを入力してください。
- ⑤ 新しいログインパスワードを再度入力してください。
- ⑥ ログイン設定を反映します。

※入力に誤りがあると、ポップアップ警告が表示されます。入力に誤りがないか確認して再度設定をお願いします。

8.8.7 LAN 設定



[図 8.29] LAN 設定

- ① LAN1 を DHCP で設定します。
- ② LAN1 に設定する IP アドレスを入力してください。
- ③ LAN1 に設定するサブネットマスクを入力してください。
- ④ LAN1 に設定するゲートウェイを入力してください。
- ⑤ LAN1 に設定を反映します。
- ⑥ LAN2 を DHCP で設定します。
- ⑦ LAN2 に設定する IP アドレスを入力してください。
- ⑧ LAN2 に設定するサブネットマスクを入力してください。
- ⑨ LAN2 に設定するゲートウェイを入力してください。
- ⑩ LAN2 に設定を反映します。

※設定値に誤りがあると、「400 Bad Request」が表示されます。設定値を確認して再度設定をお願いします。

※WEB ブラウザ設定を行っている LAN ポートを変更すると通信が切断されることがあります。切断されたときは、WEB ブラウザのアドレスバーに新しい IP アドレスを再設定してください。

8.9 Version

本機の製品名とファームウェアのバージョンを表示します。



[図 8.30] Version

9 製品仕様

項目		内容
入力数		1 系統
出力数		1 系統
映像	入力	最大 1920x1080@60
	出力	最大 3840x2160@30
対応プロトコル		TCP/IP、UDP/IP、HTTP、ICMP、DHCP
コネクタ	LAN	2 系統 RJ-45 コネクタ 10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T (Auto Negotiation)、Auto MDI / MDI-X
	HDMI	入力：1 系統 HDMI Type A (19 ピン)・メス 出力：2 系統 HDMI Type A (19 ピン)・メス (注 1)
機能	表示レイアウト	登録可能数：最大 128 個
	サムネイル保存	画像数：最大 100 画像 保存間隔：3 秒 ~ 600 秒、任意のタイミング 保存フォーマット：.jpg
	エンコード	配信方式：ユニキャスト / マルチキャスト 符号化方式：H.264 BP / MP / HP 符号化レート：8 Mbps フレームレート：最大 60 fps 対応解像度：最大 1920x1080 (注 2)
その他仕様	AC アダプタ	入力：AC ~ 100 V - 240 V±10%、50 Hz / 60 Hz±3 Hz 出力：DC 12 V 3A 36.0 W (専用 AC アダプタ付属)
	消費電力	約 18 W
	外形寸法	210 (W) × 44 (H) × 150 (D) mm (EIA ハーフラック 1U、突起物含まず)
	質量	1.5 kg
	温度	使用範囲：0 °C ~ +40 °C 保存範囲：-20 °C ~ +80 °C
	湿度	使用範囲：20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと) 保存範囲：20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)
付属品	ロック付き DIN プラグ AC アダプタ (1.2 m)	

(注 1) HDMI 出力コネクタは 2 系統の同時出力はできません。

(注 2) H.264 配信の解像度は入力映像の解像度が上限になります。

10 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありますか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点も事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

PRV-100 取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.1.3.0

発行日 2022年10月03日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** www.idk.co.jp